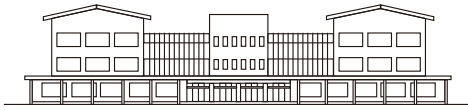


母校のトピックス



第76回城陵祭

《城陵祭テーマ》「架(かける)」

文化の部 9月2日(月)・3日(火)

令和6年度は、熱中症特別警戒アラートが設定された年であり、熱さへの対策が一層求められる中での実施でした。生徒会は「恵那高冷やそうプロジェクト」や体育館屋根への散水等工夫を凝らして、文化の部成功に向けて努力しました。台風10号の影響で延期となり土日の実施はできませんでしたが、平日開催でも、600名を超える卒業生、保護者に来校してもらうことができました。



体育の部 9月4日(水)

熱中症が心配されるなか散水や休憩時間の確保、日程の工夫など多くの対策をしての開催でした。コロナ過後、復活して2年目の体育の部であり、体育委員会が主体となり、昨年の反省を活かした体育の部となりました。

準備期間は、文化の部のクラス活動と軍団活動を毎日交互に行い、1つ1つの活動の質を上げて取り組みました。

当日は晴天で、各リレーや綱引き、騎馬戦など、自軍の応援に各生徒が声をあげて大いに盛り上がり、生徒達にとって将来思い出す高校生活の思い出の1つになったと思います。

なお、令和7年度の体育の部は、東美濃ふれあいセンターを使用しての室内開催となります。

Ena High School Topics

好評販売中!!

100周年記念誌

恵那高校100年の歴史を掲載。初代校長阿部栄之助と文豪島崎藤村の関わり、歴代校舎の画像、米軍政部GHQによる急速な学制改革、岐阜国体の開催など、永遠不滅の記録を同窓生にお届けします。

DVD
2枚付記念誌
＋
写真で綴る
学校沿革史

(郵送無料)

価格 **4,800円**

お問い合わせ先
岐阜県立恵那高等学校
TEL0573-26-1311

手に入るのは
今だけ!



お申込み
方法



好評販売中!!

100周年記念切手

恵那高の歴史を綴った切手シート。校舎の移り変わりや校章の制定など10枚の歴史のシーンが切手になっています。

価格 **2,000円**

(1シート84円10枚付)

アエルショップにて
発売中!!

記念グッズも
どうぞ!



手に入るのは
今だけ!

24号

2025年(令和7年)
6月1日

城陵

JYORYO

発行/岐阜県立恵那高等学校同窓会
発行責任者/阿部 伸一郎

〒509-7201
岐阜県恵那市大井町1023-1
TEL&FAX 0573-25-0253
HP <http://www.jyoryo.net/>

活躍する恵那高生!

校長 森岡 孝文



同窓会会員の皆様には、平素より母校の教育活動に多大なるご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

ここ数年、「学び」や「働く」環境が加速度的に変化しはじめています。特に生成AI等の情報技術の進歩と社会実装化は、求められる若者の資質・能力や今後の労働市場に大きな影響を及ぼすと言われています。

このような状況において、本校は、文部科学省から昨年度(令和6年度)のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の再指定に続き、今年度(令和7年度)は新たにDXハイスクールの指定を受け、新時代に対応した学習内容や学習環境を更に充実させていくことにしました。県内においても本校は先進的な取組やこれまでの実績により、県教育委員会から昨年度に引き続きフラッグシップハイスクールに指定され、県下の探究学習等の質の向上に向け、本校の成果の普及が期待されているところです。

また、令和6年度は、例年にも増して部活動が輝かしい成果を挙げた年となりました。ボート部、音楽部、科学部、新聞文芸部が全国大会出場、陸上競技部、軟式野球部、男子ソフトテニス部、卓球部が東海大会出場を果たしました。なかでも、音楽部は創部以来初めて中部大会を勝ち抜いて全日本合唱コンクールに出場し、さいたま市大宮のソニックシティホールで堂々と歌声を響

かせてくれましたし、軟式野球部は秋の東海大会で見事優勝を勝ち取ってくれました。更に年度末には、英会話部が文部科学大臣賞を受賞したといううれしい知らせをいただきました。

8月には全国総合文化祭が岐阜県で実施されました(「清流の国ぎふ総文 2024」)、本校の新聞文芸部と音楽部の部長が生徒実行委員長を務めるなど、恵那高校の生徒が全国の生徒の中心となって大会を盛り上げてくれました。

変化が大きく先が見通せない世の中ですが、「不易と流行」と言うように、変化にきちんと対応しながら、これまで本校で大切にしてきた「学び」や活動の機会を大切に、さらに発展させていきたいと考えております。

同窓会の皆様には、一昨年の創立100周年記念を契機に、ソフト・ハードの両面で様々なご支援をいただき誠にありがとうございます。「新しい100年」へ踏み出すに際し、同窓会の皆様のご支援に重ねてお礼を申し上げますとともに、引き続き本校の教育活動に一層のお力添えをお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸、そして城陵会のますますの発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

令和6年度卒業生 主な合格大学

令和6年度 大学入試 国公立大学 104名 合格! (普通科38名)

●京都大学	3名 合格	●名古屋大学	8名 合格	●早稲田大学	3名 合格
●東京科学大学工学院	合格	●大阪公立大学	合格 (普通科1名)	●南山大学	4名 合格 (普通科のみの数)
●岐阜大学医学部医学科	合格	●名古屋市立大学	6名 合格 (普通科1名)	●中京大学	7名 合格 (普通科のみの数)
●山梨大学医学部医学科	合格	●富山大学薬学部	3名 合格 (普通科1名)	●名城大学	17名 合格 (普通科のみの数)
●大阪大学	2名 合格	●慶應義塾大学	3名 合格		

合格した主な大学

◆京都大学	理学部	2名	◆大阪大学	理学部 物理	1名	◆名古屋大学	理学部	1名
◆京都大学	経済学部	1名	◆東北大学	工学部 電気情報物理工	1名	◆名古屋大学	工学部 マテリアル工	2名
◆東京科学大学	工学院	1名	◆お茶の水女子大学	生活科学部 食物栄養	1名	◆大阪公立大学		1名 (普通科)
◆岐阜大学	医学部 医学科	1名	◆名古屋大学	文学部 人文	1名	◆岐阜大学		13名 (普通科4名)
◆山梨大学	医学部 医学科	1名	◆名古屋大学	法学部 法律・政治	1名	◆信州大学		11名 (普通科6名)
◆大阪大学	人間科学 人間科学	1名	◆名古屋大学	経済学部	3名	◆名古屋市立大学		6名 (普通科1名)

合格者数 (延べ人数)	□国公立四大	102名 (過年度生4名)	□私立四大	289名 (過年度生10名)
	□専門学校	2名	□その他	13名

軟式野球部

軟式野球部東海大会優勝



令和6年10月26日から11月4日にかけて行われた、第39回秋季東海地区高等学校軟式野球大会に出場し、13年ぶり2回目の優勝を果たしました。

結果

1 回戦 津工業(三重3位) 10-3 (7回コールド)
2 回戦 桜丘(愛知1位) 4-1
準決勝 東邦(愛知3位) 4-0 (延長10回)
決 勝 静岡商業(静岡1位) 1-0

また、今大会の結果から、今年度5月5日に阪神甲子園球場で行われた、全国高校軟式野球選手権大会70回記念 春の軟式交流試合 in 甲子園に本校生徒1名と職員1名がそれぞれ西日本選抜として選出されました。これは恵那高史上初の甲子園出場となりました。



また、今大会の結果から、今年度5月5日に阪神甲子園球場で行われた、全国高校軟式野球選手権大会70回記念 春の軟式交流試合 in 甲子園に本校生徒1名と職員1名がそれぞれ西日本選抜として選出されました。これは恵那高史上初の甲子園出場となりました。

新聞文芸部

恵那高校と岐阜総文

新聞文芸部顧問 工藤 志栄

恵那高校では現在は新聞文芸部として活動しています。城陵70周年記念誌によると、文芸部の発刊する「若樹」は昭和23年創刊、城陵新聞は新聞部により昭和25年に創刊されているようですが、今は部誌と新聞の両方を作成しています。いつから新聞部と文芸部が合体したのかは定かではありません。

令和6年度は第48回全国高等学校総合文化祭「ぎふ総文2024」開催年度であり、恵那高校森岡孝文校長が、岐阜県新聞部門の部会長として総指揮をとり、恵那高校の新聞文芸部・部長3年、古根陽向が生徒実行委員長として大会を運営しました。

本大会は全国総文2巡目のトップバッターとして開催された記念すべき大会でした。そもそも、総合文化祭は各県の持ち回りで、岐阜県は昭和59年の第8回大会以来40年ぶりの開催となります。また、第8回大会の時には、「新聞」という部門は開催されておらず、

事実上岐阜県では初の新聞部門大会開催でした。

総文祭は、県内初の新聞部門運営で試行錯誤の連続でしたが、困ったときには不思議と救世主が現れ、たくさんの課題を解決しながら、盛会に終わることができました。

地区の運営協力生徒を束ねたのは、本校の8名の部員と12名のボランティア生徒達でした。大会期間の初日は「先生、何をしたらよいですか?」と戸惑いがちな場面も見られましたが、4日間の運営をする中で「自分たちで考えて行動しよう」という機運が生まれ、改めて、自走しようとする恵那高生のポテンシャルの高さが輝いた大会となりました。



音楽部

第77回全日本合唱コンクール全国大会報告

令和6年10月26日(土)、埼玉県さいたま市大宮のソニックシティホールで開催された全国大会に出場しました。9月の中部コンクールで本校が呼ばれた時のあの歓喜は今でも忘れることはできません。



出場が決まってから1か月、常連校ぞろいのこの大きな舞台に向けて、自分たちらしい演奏をしてしようと部員たちで決め、課題を

洗い出しながら練習を重ねました。

いよいよ本番。朝一番トップバッターでの出場でしたが、部員たちに変な気負いもなく、温かい拍手に迎えられて、彼ららしくのびのびと演奏することができました。結果は銅賞。全国の壁の高さに大きな刺激をもらった大会となりましたが、また来年、ここに帰ってこようとみんなで約束をしました。

創部以来初の出場でしたが、保護者の方々をはじめ、多くの同窓生のみなさまからあたたかいエールとご支援をいただき、無事に大会を終えることができました。本当にありがとうございました。



木股健二基金「恵那地球塾」令和6年度の活動報告

留学支援制度

〇5月1日(水) 第7期生留学説明会

生徒 29名・保護者10名の参加がありました。昨年度6月に帰国した第4期生のあいさつの後、学校長から木股基金設立までの経緯、今後の展望などの説明がありました。委託団体であるISAより長期留学・正規派遣留学、短期留学募集について詳細な説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

〇5月18日(土) 同窓会総会

前述の第4期生1名が参加し、長期留学の成果と感謝の気持ちを報告しました。それぞれが経験し、学んだ内容を堂々と発表してくれました。会場は感動に包まれ拍手で報告を終えることができました。



〇5月31日(金)～6月30日(日)第5期生(長期)3名帰国

5期生3名が全課程を修了し、無事帰国しました。

<第5期生 長期留学を終えて>

▶自分が成長したと思う点は、多様な考え方を受け入れることができたことです。アメリカには、様々な国から来た人々がとても多くいます。そのため、多くの考え方、文化、生活習慣が存在します。自分の意見と異なることを聞いたときも、相手がなぜそう考えるのか、背景状況を踏まえて考えることで、理解したり、自分の意見が深まったりすることを実感しました。(米国ミズーリ州)。

▶私の留学生活は苦しくて悩むこともありましたが、1年を通して困難や不安を克服して自信が付き、精神的に強くなることができました。また、人との出会いの尊さや周りの人間への感謝の気持ちをよく知ることができた1年間でした。この1年間は絶対に僕の今後の人生をうまく導くものとなるでしょう。(米国ワシントン州)

▶「帰りたくない」と思えるような留学にすることが、私の目標でした。何とか最初の三か月間を乗り越え、それからの七か月間はほんとに濃厚で、学びの多い期間でした。そして帰国日、私は「帰りたくない、もう少しここに居たい」と心の底から思いました。そして、家族に「楽しかったよ。」と胸を張って言えたことが何よりも嬉しかったです。(米国ケンタッキー州)



〇7月 8日(月) 第6期生認定証授与式・出発激励式

〇7月19日(金) 第6期生(短期) 1名 ニュージーランドへ出発

〇8月15日(木) 第6期生(長期) 1名 米国へ出発

選考を前年度までに終えた6期生2名の認定証授与式と出発激励式を行いました。同窓会長、保護者を迎え盛大に行われました。出発を目前に控え、決意を深めている様子がうかがえました。第6期生は短期1名、長期1名がそれぞれ希望にあふれ順次出発しました。



〇9月19日(木) 第6期生(短期) ニュージーランドから帰国第6期生 短期留学を終えて>

私が特に印象に残っていることはオールブラックスの試合を学校のインターナショナルの友達と見に行ったことです。オールブラックスの本拠地であるニュージーランドで見るラグビーはとても迫力があり、言語が違っても、みんなで一つのチームを一丸となって応援するのは本当に楽しかったです。(ニュージーランド・ウエリントン)



プログラム参加支援制度

〇12月25日(水)～27日(金) 第7回グローバルスタディーズプログラム(国内留学体験)



25名の1～3年生と、各国からの留学生4名・講師1名が参加し、実施されました。SDGsや思考方法などについても研修を深め、英語漬けの3

日間を楽しみました。この模様は『恵峰ホームニュース(2月1日発行)』にも掲載されました。

〇3月 8日(土)～12日(水) SSHハワイ海外研修への支援

コロナ禍で中断していたハワイ研修が再開となり、4名が参加します。今回新たに木股健二基金から支援することになりました。

その他の活動

〇11月 4日(月) 令和6年度岐阜県中高生留学フェア(岐阜県教育委員会)への参加

岐阜県の「留学支援金」を利用した留学生の代表として第5期生が参加者に留学体験を県の代表として発表、2名は留学コーナーで参加者に懇談をするなど活躍しました。(令和7年2月28日現在)

第24回東京城陵祭開催

東京城陵会 森岡 加代

昨年4年振りに100周年に合わせて10月開催した東京城陵祭、第24回も秋の開催としました。秋開催の決め手は、故郷の栗きんとんをお土産として出席者に渡したいとの思いでした。

会場も昨年同様銀座ライオン6階クラシックホール、9月23日(月)開催、出席者は49名でした。

恵那からは森岡校長先生、阿部同窓会長、西山同窓会副会長、東濃同窓会からは瑞浪高校首都圏同窓会伊藤会長、宮田幹事長にも御出席いただきました。

阿部同窓会長乾杯の発声に続き歓談が始まり、用意した7つのテーブルは賑やかに会場はやがてひとつになっていきました。プログラムは前東京大学副学長関村直人先生のご講話、お楽しみ抽選会へと進んでいきます。今回抽選会の景品は、2月に急逝された小林正喬先輩から寄贈された30作品を超える立体画色紙です。ここでまたひと盛り上がり。全員での校歌斉唱、閉会の言葉が終わっても皆別れ難く、ライオンビル3階での2次会へと流れていきました。出席者32名で大盛況でした。



第24回 東京城陵祭 「ライオン銀座」クラシックホール、2024. 09

お願い

1. 東京城陵会は毎月第2金曜日・銀座ライオン7丁目店2階で、月例会を開催しています。申し込み必要なし、来られる方は会費3,000円でランチとビールで語り合ひましょう。
2. 東京城陵会では郵便料金値上げを受けて、城陵祭のご連絡をラインとメールに切り替えさせていただきました。現在グループラインに52名登録いただいています。QRコードからの御登録を皆様にお声掛けいただけますようお願い申し上げます。



中津川恵那高会(恵蘇会)総会

第69回中津川恵那高会(恵蘇会)総会は11月23日(土)パルティールAIにて開催されました。

校歌斉唱ののち勝会長の挨拶、高木恵那高同窓会副会長、森岡恵那高校校長の来賓挨拶、定期総会の部と進みました。

定期総会では令和5年度の会計報告、令和6年度の方針が提起され、令和7年度の役員として吉村浩平新会長以下新役員が提案され、承認されました。懇親会の部には17名が参加し、勝野直前会長の乾杯で始まり、城陵歌で締めくくられました。



瑞浪恵窓会総会

令和7年3月9日(日)瑞浪市地域交流センター「ときわ」にて、令和6年度瑞浪恵窓会総会が開催されました。

物故者への黙祷、校歌斉唱に続き会長である水野光二瑞浪市長の挨拶、来賓代表として阿部同窓会長の挨拶があり、総会では令和6年度の事業報告、会計報告および令和7年度の事業計画、予算が承認されました。

その後、森岡校長が恵那高の近況について報告し、100周年記念式典で使用された「城陵100年の歩み」が上映され、懇親会へと移りました。懇親会参加者は21名とやや少なかったですが、水野会長、吉村中津川恵那高会会長、阿部同窓会長の間では中京学院大学の移転について意見が交わされるなど、活発な交流がおこなわれ、最後は城陵歌斉唱で締めくくられました。



個人の部

33組 市岡 俊祐さん

第78回国民スポーツ大会

ローイング競技 少年男子シングルスカル 3位

33組 鷺見 夏希さん

第78回国民スポーツ大会

ローイング競技 少女女子ダブルスカル 3位

32組 北澤 孝太郎さん

JICA国際協力 中学生・高校生エッセイコンテスト 2024

独立行政法人国際協力機構中部センター所長賞受賞

35組 鵜飼 泰志さん

35組 平林 鋭洸さん

35組 安江 考弘さん

35組 吉田 咲崎さん

以上4名は、第22回 生活創造コンクール

一般社団法人先端加速器科学技術推進協議会賞受賞

この1年間に、県レベルの大会などで優勝したり、全国大会に出場するなど、恵那高校の歴史に残る活躍をした生徒を同窓会が表彰するStudent of the Year賞。

今年度は個人9名と4団体を表彰しました。令和7年2月28日の表彰式では阿部同窓会長から受賞者代表のポート部市岡俊祐さんに賞状と副賞の図書券が授与されました。



25組 伊藤 花菜さん

令和6年度 岐阜県青少年展

絵画の部 最優秀賞受賞

14組 相場 響さん

シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 出場、

全日本ピアノコンクール 2024 出場

団体の部

科学部

ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2024 出場

音楽部

第78回全日本合唱コンクール 出場

第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」 出場

新聞文芸部

第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」 出場

軟式野球部

第39回秋季東海地区高等学校軟式野球大会 優勝

名古屋恵那高会総会

9月28日(土)「ルブラ山王」にて令和6年度名古屋恵那高会総会が開催されました。

鮎澤会長の司会進行のもと総会も滞りなく進み、役員選任においては現役員全員が留任となりました。懇親会には来賓等も含め34名が参加し親交を深めました。



令和6年度 PTA表彰



3年生を対象に人前で華やかに表彰されるようなことはなかったが、縁の下での力持的な働きで学校や社会に貢献した生徒をPTAが表彰。今年度3名が表彰された。代表として34組佐藤悠来さんに原PTA会長から表彰状が渡されました。

34組 佐藤 悠来さん

第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」の総合開会式生徒代表実行委員として活躍しました。

33組 田代 桃子さん

第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」において合唱部門生徒代表実行委員長として活躍しました。

36組 古根 陽向さん

第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」において新聞部門生徒代表実行委員長として活躍しました。